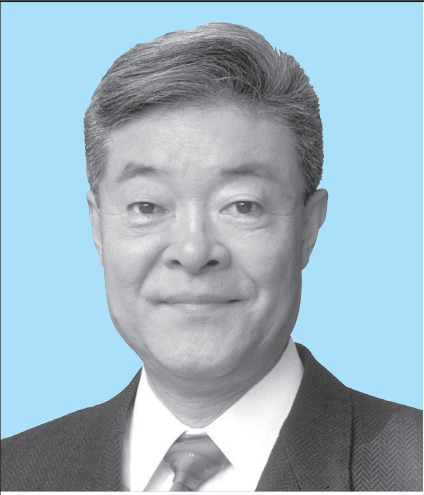




目黒区議会議員 ジャーナリスト・目黒区行政監視団代表

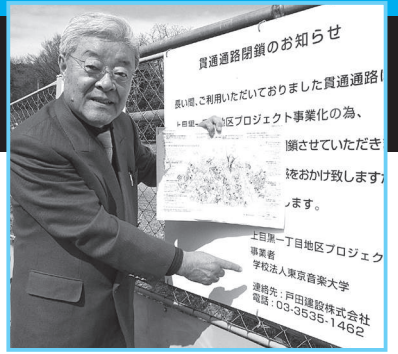
須藤 甚一郎

す どう じん いち ろう

目黒区の問題がよくわかる 政務活動レポート

<http://home.f04.itscom.net/sudo-j>

ホームページでYouTube版「ウィークリーニュース」の動画が見られます。
スマホ、携帯電話で「ウィークリーニュース」が見られます



「闘う無所属」須藤甚一郎

目黒区は、国鉄宿舎跡地（JR跡地）を区民住宅等福祉施設建設のために21年前に購入。結局、何もせず。青木英二目黒区長はJR跡地を随意契約の大安値で東京音大グループへ売却。61億7921万4000円で購入する業者がいたのに、42億1162万4021円で売却し、その差額はじつに19億6758万9979円だ。この売却は地方自治法で規定する随意契約違反であり、私は青木区長個人に、差額を支払うことを求める住民監査請求を提起した。



目黒区職員措置請求書(抜粋)

- 1 請求の主旨
措置請求の対象者: 目黒区長 青木英二
措置請求の内容:
- 2 (1) 目黒区長・青木英二(以下、区長・青木という)は、目黒区の区有地・旧国鉄宿舎跡地(通称JR跡地、以下JR跡地という)を公募提案方式の随意契約を採用し、東京音楽大学グループに売却した。目黒区有地JR跡地の売却に関しては、区長・青木が契約者であった。
(2) JR跡地は、目黒区有地と東京都有地を合わせて売却先を選定し売却されたが、本件住民監査請求の対象として、私が取り上げるのは、目黒区有地部分に限定する。
平成27年6月に公表された<「上目黒一丁目地区プロジェクト 事業予定者選定結果 平成27年6月 目黒区 東京都都市整備局」>(事実証明書1)よりJR跡地関連部分を抜粋し掲載する。
事業用地
(1) 所在地(地番):
区有地/東京都目黒区上目黒一丁目70番17
都有地/東京都目黒区上目黒一丁目70番3
(2) 面積(公簿):
区有地/4,270.00㎡
都有地/4,268.00㎡
審査委員会の構成は以下のとおりである。
委員長 倉田直道、委員

右段に続く①

自治法違反だ！監査請求 青木区長個人が損害額約20億支払え！

大損害発生！青木区長随意契約で最高見積より約20億安く売却！

1300坪 JR跡地21年前福祉目的で購入区有地、何もせず東京音大へ売却！



大野木孝之、垣内恵美子、河野廣、中 井祐、根上彰生、前田博(敬称略)(須藤注:審査委員の肩書がないため、どんな人物か不明)
提案書等の受付
平成27年1月14日に事業者募集要項等を公表し、平成27年3月20日に提案書等を受け付けたところ、以下の4グループから応募があった。
TSUNAGUFOREST 人・街・緑・つなぐPJ
つなぐプロジェクト 音楽の杜
(1) 事業予定者
グループ名 音楽の杜
構成員(〇は代表者) 〇学校法人東京音楽大学
戸田建設株式会社
株式会社日建設計
(2) 次点
グループ名 つなぐプロジェクト

構成員(〇は代表者) 〇エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社
株式会社スタジオ建築計画
共立建設株式会社
事業予定者の提案概要
(1) 建物の用途大学施設等
(2) 建物の高さ16.9m(地上3階地下1階)(3) 建ぺい率、容積率59.7%、192.36%(4) 延床面積17,084㎡(5) 提案土地買受価格7,770,000,000円>
(3) JR跡地売却に当り4グループが公募提案に参加したが、購入価格及び跡地利用計画等について、目黒区が議会、区民に対して公表したのは、売却先に決定した東京音楽大学グループだけであった。
そのため私は、平成27年6月に売却先が東京音大グループに決定して以降、同年

2ページに続く①

こんな区政はゴメンだ!平成28年第1回定例議会 青木区長の虚偽と自慢に満ちた所信表明を徹底的に暴く!

平成28年 青木区長所信表明(抜粋)

★毎年恒例の所信表明の抜粋を紹介する。中身が薄いだけでなく、あちこちに虚偽というべき内容が散見する。そのため、私、須藤のコメントを挿入した。

(はじめに)

私が区民の皆様からの負託を受け、区長に就任してから、3期12年が過ぎようとしております。

この間、世界経済の悪化とその後の景気低迷などにより、本区においても大幅な歳入減少に見舞われたことから、平成24年度からの3年間、区議会をはじめ、区民の皆様や関係団体の皆様のご協力のおかげで、区民生活への影響を最大限考慮した上で、財政健全化に向けたアクションプログラムに取り組み、財源不足の回避と積立基金残高の維持という、緊急財政対策としての所期の目的は達成することができた。

「区民生活への影響を考慮した」は嘘だよ!

(須藤コメント: 内容はもちろん、なんだ、このデレデレと長ったらしい文章は!区長・青木は、自分の区政運営失敗を“世界経済の悪化と景気低迷に目黒区の大規模な歳入減少”と例によって、リーマンショックなどのせいにしての責任逃れ。景気低迷や歳入減少は、目黒区に限らずどの自治体も共通だ。特別区東京23区中、最悪・最低な財政にしたのは、他でもない区長としての能力欠乏の青木の責任だ。

“区民生活への影響を最大限考慮した”とは、真っ赤な嘘だ。区有施設の利用料値上げ、図書館の開館時間の短縮、寝たきり高齢者の紙オムツ有料化など、区民生活への悪影響は他区にはない。区民生活を圧迫させておきながら、年収2100万円もの給与はそのまま、1期4年ごとの退職金約2000万円も平然と受け取っている。どういう了見なんだ!)

区政を取り巻く状況認識

経常収支比率に4年連続で改善が見られるととも



なぜ所信表明を一面に!

に、積立基金残高について一定の回復が図られました。しかし、積立基金残高は23区の中でもいまだ低い水準にあり、また、地方債残高も着実に減少しているものの、依然として財政の硬直化から脱し切れてはおりません。

基金を130億も積んでも 区民は幸せにならない! 失策の穴埋めか

(須藤コメント: 『積立基金残高は23区の中でもいまだ低い水準にある』と区長・青木はいう。バカいっちゃいけない!当りまえだよ。

世田谷区、大田区、板橋区などは、目黒区の人口約27万の2倍以上もあるのだから、予算規模も大きいし、基金残高も多いのは当然だってえの。そんな小学生にもわかることも理解できないで区長をやっているのか!平成27年度末の積立基金残高は、なんと約130億円にもなる。目黒区民のために税金を使わずに、基金として積んでいても、区民はこれっぽちも幸せにならない。23区中最悪の財政状態になったとき、区長・青木は「基金があったら、こんなことにならなかった」とマヌケな発言をして嘲笑された。青木がやたらと基金を積み増したがるのは、本来、区民のために使うべき税金を区長・青木の失政、失策の穴埋めに使うためのものか?トンデモナイことである。そんなことは絶対に許せない!

2ページに続く②



「青木区長に監査請求起こした!」

1 ページ①より続く

8月、11月末までJR跡地売却に関する価格を含む提案書等情報文書の開示請求を再三行った。

しかし、所管課の政策企画課は「まだ契約が終了していない」とか「事業者の了解が得られない」などの理由で非開示であった。が、同年27年11月25日に公募提案に参加した4事業者の提案価格と提案内容の概略に絞った結果、28年1月8日、やっと売却先以外の事業者の提案価格も知ることができた。4事業者の提案価格を整理すると下記の通りである。(事実証明書2)

(目黒区有地/4,270.00㎡ 東京都有地/4,268.00㎡)

売却先：音楽の杜グループ(東京音大) 提案価格

(目黒区及び東京都合計)	7,770,000,000円
目黒区有地の価格	4,211,624,021円
東京都有地の価格	3,558,375,979円

次点：つなぐプロジェクト

提案価格(合計価格)	11,399,995,000円
目黒区有地の価格	6,179,214,000円
東京都有地の価格	5,220,781,000円

人・街・緑・つなぐPJ

提案価格(合計価格)	8,620,000,000円
目黒区有地の価格	4,672,355,091円
東京都有地の価格	3,947,644,909円

TSUNAGU FOREST

提案価格(合計価格)	9,039,607,500円
目黒区有地の価格	4,899,797,695円
東京都有地の価格	4,139,809,805円

(4)目黒区有地JR跡地を東京音楽大学グループへ、売却する随意契約が違法・不当である根拠を以下、列挙する。

ア.地方公共団体の不動産売却は、地方自治法第234条の規定により、一般競争入札が原則であることは周知のとおりである。しかし、目黒区と東京都が共同で採用した公募提案方式による本件土地売却は、随意契約である。地方自治法施行令167条の2は例外として随意契約を認めている。けれど、2号「性質又は目的が競争入札に適しないものをするとき」や7号「時価に比して著しく有利な価格で契約することができる見込のあるとき」など限定している。しかし、本件JR跡地売却は該当せず、違法と

いうべきである

イ.目黒区有地の購入最高提示価格は、つなぐプロジェクトの6、179,214,000円であった。売却先の音楽の杜グループ(東京音大)の提示価格は4,211,624,021円であり、その価格差は1,967,589,979円である。ちなみに売却先である音楽の杜グループ(東京音大)の提示価格は、参加した4グループ中で最安値価格であった(前頁の価格比較表参照)

目黒区は、売却先を選ぶ審査委員会で、提案価格の有利性とJR跡地の利用計画の内容を比較考量して審査した形跡はないのである。審査委員会では、売却予定価格を超過していれば、あらかじめ決めておいた加点方式等に自動的に当てはめられて、とてい合理的な選考方法とはいえない。

そもそもJR跡地売却は、目黒区の財政状態の悪化のため、財源確保が目的の売却計画であった。それなのに、最高提示価格よりも19億6700万円余の貴重な財源を考慮せず、区長・青木が音楽の杜(東京音大)グループに売却し大損害を発生させたのであるから、違法・不当であるのは当然である。ウ.区長・青木が主宰する目黒区の最高政策決定機関である「政策決定会議」の議事録を開示請求して点検したが、目黒区民にとっては貴重な財源である19億6700万円余の価格の有利性に関して、区長・青木はじめ構成員が議論した記録はまったく存在しなかった。その結果、目黒区及び目黒区民に対し、大損害を与え違法・不当であるというべきだ。

(5)区長・青木に求める措置内容

区長・青木が、価格の有利性を適切に考慮せず、違法・不当なJR跡地売却の契約をしたために、最高提示金額と売却先である音楽の杜グループ(東京音大)の提示金額の価格差1,967,589,979円の損害を目黒区に発生させたのである。よって、監査請求人は、個人としての青木英二が、1,967,589,979円を目黒区に対して支払う措置を求める。 以上

2 請求者 須藤甚一郎

平成28年2月29日

目黒区監査委員 様

基準によれば、売却先を選ぶ審査委員会では、自動的に審査は加点方式、比例配点方式に当てはめただけであり、提案価格とJR跡地利用の内容を比較考量したとはいえないのではないのか。

質問(5)

公募提案方式による売却は随意契約である。地方公共団体の不動産等財産の売却は、一般競争入札が原則である。地方自治法施行令167条の2は例外として随意契約を認めている。けれど、2号「性質又は目的が競争入札に適しないものをするとき」や7号「時価に比して著しく有利な価格で契約することができる見込のあるとき」など限定している。しかし、本件JR跡地売却は該当せず、違法というべきではないか。

区長・青木答弁の要点

公募型プロポーザル方式により土地買い受け価格を含め、まちづくりの考え方を実現させる総合的にふさわしい提案を公平・公正に審査した。随意契約を締結することは地方自治法施行令167条の2、第1項2号その他の契約で「その性質または目的が競争入札に適しないものに該当する」、の繰返しであった。

「青木区長の所信表明暴く」

1 ページ②より続く

昨年6月に閣議決定されました、経済財政運営と改革の基本方針では、デフレから脱却し、成長力強化、まち・ひと・しごとの創生、公共サービスの質の向上などの改革に取り組むことが必要とされております。日本の未来を切り開く新たな国づくりとして「一億総活躍社会」を目指すとしております。

「一億総活躍社会」は「一億火の玉だ」「一億玉砕」と同じで不幸だね!

(須藤コメント：総理・安倍晋三のブチ上げるのは、ダメなことばかり。“アベノミクス”では国民の生活はもっとも良くなり、”アホノミクス””ダメノミクス”などはすでに常識だよ。

「一億総活躍社会」などと為政者が「一億」の形容詞をつけるのは、国民にトンデモナイことを強制するときだよ。

「進め一億火の玉だ」「一億玉砕」「一億総懺悔」などだ。「進め一億火の玉だ」は、日米開戦突入の翌年、大政翼賛会がつくったスローガンだ。

ニッポン人のほとんどのどうしようもなく悪い点は、本心は「こんなのダメだ!」ってことを知っていても、拒否できない性格だ。「一億玉砕」は、日本国民全員が死ぬ!ってこと。そして、戦争に負けたら「一億総懺悔」だ。ハッキリ「いやなことは嫌だ!」って、なぜいえないのか。

安倍晋三や麻生太郎が、ヒトラーのナチスドイツを真似て、いい気になってやっている「戦争のできる国・ニッポン!」や「戦争法案整備」はこりやダメだとわかっていても、嫌だといえずズルズルと引き込まれて賛成する。自民の国会議員、しがらない地方議員、そして普通のおっちゃん、ばっちゃんまで、拒否しない。どうしようもないぜ、って!)

子育て支援と福祉・教育を充実する取組

本区では、認可保育所の新設、定員の拡大、認証保育所整備などにより、平成27年度までの五年間で八百人以上の定員増を図ってまいりました。しかし、保育所等待機児童数は依然として多い状況が続いており、就学前人口や要保育率の増加、保育士不足が見込まれる中、施設整備と保育人材確保など、ハード・ソフト両面から取組を確実かつ迅速に進めていく必要があります。

平成28年度は、賃貸型や国公有地を活用した私立認可保育所、小規模保育事業施設の整備、定期利用保育の実施など、様々な手法を活用し、200人余の定員

区民怒りの座談会こんな目黒区政でいいのか? 「青木区長は本会議中に口を開け居眠りだよ!」

目黒区民のご隠居(70)、主婦(52)、須藤の3人で目黒区政についてホンネをしゃべる座談会を開催した。ご隠居と主婦のお二人から、歯に衣着せぬ怒りの発言をいただいた。

ちなみに、座談会という形式は、作家で雑誌「文藝春秋」を創刊した菊池寛の発案だという。文化勲章受章の作家で風刺家だった故・丸谷才一さんによれば、座談会は日本独特で欧米諸国にはないんだそうだよ。

須藤：どうでしたか、ご隠居は初めて目黒区議会を傍聴されたんでしょう?

隠居：あきれたよ。今後区民税なんか払いたくなくなったよ。だって、本会議で青木区長が口を開けて居眠りしていたじゃないか。

須藤：いつもやっていることだが、最初はびっくりする。ばくが議員になった17年前、前の区長が居眠りこいているんで、重病じゃなかったね。議員にも居眠りしてるヤツがいたけど。とくに今の区長・青木は、居眠りのやり過ぎだ。

隠居：おれは長いことサラリーマンをやったし、小さな会社の社長もしたが会議中に居眠りするヤツなんかいなかった。そりゃそうだ。居眠りしたら叩き出したし、そんなヤローは即刻クビさ。(笑)

主婦：区議会の本会議や委員会で、区長や議員

増加を図る予定でございます。

待機児問題、区長・青木は逃げっ尻で何も解決せず!

(須藤コメント：東京23区中、最悪の待機児問題にした原因は、いうまでもなく区長・青木の無能、無責任によるものである。かねてから就学前人口が増加するのは十分に予測できた。しかし、なんら手を打たずにした。

一例を挙げれば、平町の認可保育園問題では、区はすべて保育園を運営する予定の業者任せにして、区として近隣住民に事前に何も説明しなかった。1昨年11月、突如、「めぐろ区報」で募集開始。

テレビの“どっきりカメラ”ではないのだから、そんなバカなことをすれば、住民が抗議し反対するのは当然だよ。私は住民の方たちの意見を聞き、業者と区の担当部長、課長の住民説明会を2度傍聴した。区長・青木は、逃げっ尻で何もせず。区民懇談会で青木は、住民に「わたしは政治家だ!」なんて暴言を吐いたのは、どういうつもりか。

人事異動で担当部長がS部長になり、住民との話し合いを積極的にやり住民側も納得した。最初からきちんとやっていれば、昨年4月には開園できたが遅れてしまった。その結果、いま工事中で今年6月に園児60人で開園する)

さらに、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を契機として、リオデジャネイロ大会のオリンピックイヤーである本年は、その気運醸成と区民の健康増進を図るため、めぐろ10キロマラソン大会の実施、トップアスリートを招へいたスポーツイベントや教室の開催、スポーツ情報紙の創刊など、スポーツ振興を総合的・計画的に推進してまいります。

オリンピックに浮かれるな! 区がスポーツ紙創刊だと? 東スポで十分だ!

(須藤コメント：オリンピックは、でっかい運動会みたいなものだ。そんなことに浮かれてどうすんの?昭和39年の東京開催のオリンピックを覚えているが、別にどうってことないよ。都心の地主や不動産屋が儲かったかもしれないが、こちらら庶民には関係なし。目黒区主催の10キロマラソンも余計なお世話だ。なに?目黒区がスポーツ情報紙を創刊するだ。ふざけるな!スポーツ紙は、スポニチと東スポで十分だよ。無駄遣いはよせ!)

おわりに

区政の課題を一つとして先送りすることをせず、解決に向け取り組んでいくことが、区政の舵取り役としての私の責務でございます。

区長に就任して3期12年を終えようとしておりますが、引き続き「住みたいまち、住み続けたいまち目黒」づくりにチャレンジしてまいりたいと存じます。

区長・青木の4選出馬

(須藤コメント：青木が「引き続き“住みたいまち、住み続けたいまち目黒”づくりにチャレンジ」だなんて冗談じゃないよ。「区長多選禁止の条例化」「区長が多選による権力腐敗防止」を公約にして初当選したが公約破りだ!

に居眠りされると、ほんとアタマにくるわ。傍聴している私たちがバカにされてるようで。いや、バカにしてるからするのよね。(笑)

●本会議で起床ラッパ!起きろよ、起きろ!って吹いてやるか!

隠居：名案があるぞ。うちには爺さんが日露戦争のときに使ったという起床喇叭(ラッパ)を吹く伝説の陸軍のラッパがある。♪起きろよ、起きろ!皆んな起きろ!起きないと班長さんに叱られる、ってリズムで吹く。区長や議員が居眠りしたら、あのラッパを吹くのさ。伝説のラッパ、ホントは世田谷のボロ市で買ったんだとか。(笑)

主婦：須藤さんが何回も「“切れ目のない”なんて総理・安倍晋三のパクリじゃないか!」って、青木区長の答弁で怒鳴っていたわね。あれは、どういうことなの?

●パクリは五輪エンブレムだけじゃない!“切れ目のない”を区長・青木が連発して赤っ恥だ!

須藤：総理の安倍は、食パンやフランスパンじゃあるまいし“切れ目のない”とはなんだ。安倍は「国民を守るための切れ目のない安全保障法制の整備」という具合に使い、法案

3 ページへ続く

私は、28年第1回定例議会の一般質問で、JR跡地売却に関する質問をつぎの5問に整理して聞いた。

質問(1)

平成27年6月、事業予定者発表時に提案価格を議会に報告したのは、予定者の東京音大グループだけである。なぜ区長は現在まで、他の公募提案に参加した3事業者の提案価格を議会及び区民に報告せず、隠蔽しているのか。

質問(2)

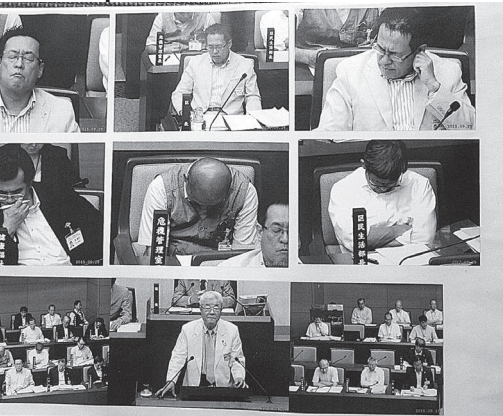
目黒区が購入してから21年目、JR跡地は目黒区及び目黒区民の貴重な財産である。その売却なのであるから、公募提案に参加した4事業者すべての提案価格を議会・区民に公表するのは当然である。公表しない理由は何か?

質問(3)

最高提案価格の61億7千万円余で売却できたのに、なぜ青木区長は19億6千万円余も安く42億1千万円余で売却したのか。保育施設拡充等の財源確保に又とない機会であったのに、大損害発生ではないのか?

質問(4)

目黒区有地の購入希望の最高提案価格は61億7千万円余であり、売却価格42億1千万円余との差額は19億6千万円余である。審査



本会議中の区長と幹部



2 ページより続く

の名称にもなっている。

「区民怒りの座談会！」

隠居：オリンピックのエンブレムのパクリ騒動もあったが。区長の青木も書類を手を持って読み上げたとき、何度も“切れ目のない”って言っていたぞ。

須藤：その通り。青木の本会議の答弁は、役人の課長や係長が書く答弁書という、カンペ(カンニングペーパー)を読むだけ。1回の答弁に3回も4回も“切れ目のない”が出てくる。書いた役人もそれを読む青木もアホだよ。そのカンペを書いたマヌケな役人が安倍の答弁をパクって(盗用)、切れ目のないって書いているのだ。

主婦：切れ目のないなんていわずに、「連続して」とか「すべてに」「まんべんなく」など、同じ意味の言葉はいっぱいあるわよ。

須藤：まったくその通りです。“包括”なんて日常生活では、死ぬまで使ってもない言葉が役所、役人はよく使う。使う連中も“包括”と国語辞書で確かめることもなく、ちゃんとした意味を知らずに使う。包括支援センターというのができて以後、やたらと使われるようになった。

隠居：おれは使ったことないし、どういう意味なんだ？

主婦：あたしも辞書で確かめたことないわよ。でも、包括って、なんでもって意味なんでしょう？

須藤：包括支援関係の法律を国が制定したとき、包括という言葉を使った。「新明解国語辞典」によれば、「包括:全部をひっくるめて一つにまとめること。」ってわかりやすい。だから、自治体によっては「包括支援センター」といわずに「何でも支援センター」って言い替えてるところもある。ぼくは何度も「何でも相談・支援センター」にしたらいいい、と提言したが実現しない。

隠居：区長の青木も議員も「沈黙は金なり」の格言を守っているんじゃないのか。とくに区長の青木は肝腎なことは発言せず、どうでもいいことは、的外れにペラペラしゃべりまくる。議会でいうのは、議論するから議会なんだ。区長や議員は「沈黙は税金泥棒」だよ(笑)

主婦：須藤さんは、しゃべり過ぎかもね。(笑)

須藤：確かにそれは言える。けれど、ぼくが本会議や委員会で質疑しなければ、他の議員は誰も質疑しないってのがある。痴漢事件で質疑するのはいつもぼくだけだよ。

隠居：目黒区職員は、よく痴漢事件を起こすな。むかし「時間ですよ！」ってホームドラマがあったが、それじゃあ「痴漢ですよ！」だ。さあ、座布団1枚ちょうだい!(笑)

須藤：昨年夏にも職員の痴漢事件があった。東横線の車内での痴漢事件で現行犯逮捕。その職員は以前にも痴漢事件で逮捕歴あった。総務部長らは、2度目だと発表せず、隠したんだ。ある職員がぼくへ通報して再犯だと判明。それから、最近、タイムレコーダー記録を改ざんして140万と100万の不正受給した課長、係長の事件の委員会報告も追及したのはぼくだけだね。

主婦：税金ドロボーなのですから、きちんを追及してくれなきゃね。

須藤：いま課長と係長はごまかしたカネを返還中だ。見つかったら返還すればいいでは、不正は断ち切れないよ。目黒区は刑事事件として、告発はせず、新聞・テレビへのマスコミ発表もしなかった。区長・青木にマスコミ発表はしないのか、と質すと「検討します」だと。ダメだよ。そこですぐ通信社の共同通信に連絡して情報提供した。共同通信が新聞各社に配信して翌日の東京新聞、サンケイ新聞の記事になった。

隠居：あの記事は、あなたが情報提供したからなのか。ご苦労さん!

目黒区「新年のつどい」は不明瞭会計だ！ 100万円以上の税金投入は 非常識だ！

目黒区は毎年1月4日に恒例の「新年のつどい」を目黒雅叙園で開催している。けれど、不明瞭な点が少なくない。主催するのは、建前では区長部局の行政と区議会の共催になっているが、実情は区長の部局が主導権を持ち行っている。

「新年のつどい」の前に議会で、新年を祝うイベントの内容、経費の詳細、飲食物の明細などについて、議員たちが議論し決定したことは皆無だ。

かつては参加者全員が無料で、費用はすべて税金で払っていた。いわゆる新年会を税金でやるなんて、非常識そのもの。非常識そのもので、トンデモナイ!

現在は区が招待した者は無料。それ以外の参加者は、会費3,000円の有料だ。平成28年開催の「新年のつどい」は、つぎのとおりだ。

平成28年新年のつどいの実施結果について
1 日 時：平成28年1月4日(月)午前11時30分～午後0時45分
2 場 所：目黒区雅叙園2階 舞扇

”担保”の意味を知らずに使用するアホ! 総理安倍&区長青木

漢字の”担保”を間違えて使うのが目立つ。総理・安倍晋三は担保の意味を知らないためしばしば誤って使う。誤用の一例を挙げれば、安倍が出版した新書版の「美しい国へ」の中で「個人の自由と国家の関係は自由主義国家においても、ときには緊張関係ともなりうる。しかし、個人の自由を担保しているのは国家なのである」とある。

何を言っているのか意味不明だ。

国語辞書で担保の意味を確認しておこう。

「岩波国語辞典第五版」では、**[担保]**:債務者が債務を果たさない場合の、債権者の損害を補うために設けられたもの。多くは債務者が債権者に物品などを保証として差し出す。抵当。

総理が無学なのがわかる。

目黒区長の青木英二も“担保”を連発する。私が所属する区議会の企画総務委員会で、過去にも指摘したが、再度区長青木の担保についての

誤用を強く追求した。

青木が委員会である議会への答弁で、「公平性は**担保**されている」と発言。そこで私は「担保」は意味不明だ。普通担保とは、たとえば、土地を担保にしてカネを借りるという具合に使う。

青木は次のように的はずれの自己弁明。

法改正で区長部局と教育部局は合併された。青木は「法改正はあっても、教育委員会は執行機関として権能を持ち、代表的なことでは教科書の採択については、“担保”していますという趣旨でも申しあげた。委員(須藤のこと)ご指摘のように、文部科学省のホームページ等では確保というふうになっていますので、私は確保と担保でそんなに大きな違いはないと思いますけれども、文部科学省の文書からいくと確保になっているので、より正確に言えば、ご指摘のように確保のほうがよろしいと思っていますところです。」確保と担保の大違いだよ!

悪質目黒区職員2人タイムレコーダー改ざん 給与と手当145万と100万フトコロへ！ 懲戒処分わずか停職1～2か月！

目黒区、出勤時間偽った課長らを停職処分
「東京新聞」平成28年2月27日朝刊
目黒区は26日、出勤時間を偽り、給与を不正に受け取ったとして、男性課長(48)を停職2ヶ月、男性係長(47)を停職一ヶ月の懲戒処分にした。処分は25日付。区によると、男性課長は2012年～15年、計65回にわたって出勤時間を偽り、約91時間の給与と勤勉手当など約145万円を不正に受け取った。

男性係長は11年～15年に計120回偽り、約百万円を受け取った。二人はタイムカードを通さなかったり、後から出勤時間を改ざんしたりしていた。

課長がタイムカードを通さないことなどを不審に思った職員が人事課に相談して発覚。全職員を調べたところ、係長の不正もわかった。二人は「遅刻を隠したかった」と話しているという。

**処分は2人とも軽すぎる！
人事課は将来を考慮したというが、
過保護処分だ!**

目黒区役所には悪いヤツがいたもんだ。2月26日、区の人事課長が区議会の企画総務委員会へ報告した文書によれば、
A副参事(課長級、男性:48歳)

不正受給を行っていた期間は、平成24年6月から27年11月まで3年5か月。処分内容:停職2か月間。

B係長(男性:47歳)

不正受給を行っていた期間は、平成23年から27年9月まで4年5か月。処分内容:停職1か月間。

副参事は145万円、係長は100万円の給与と手当をダマし取ったのに、処分が停職2か月と1か月では、懲戒処分がともに軽すぎるといういい。2人は「遅刻を隠したかった」と話しているという。けれど、本心はカネ目当てでタイムレコーダーを改ざんしたのだらう。軽すぎる処分について、人事課は「職員の将来のことを考慮して処分した」というが、未成年や若い職員ならともなく、課長・係長と部下のいる役職にあり、年齢も2人とも善悪の分別がよくわかるオジサンたちだよ。

**遅刻、早退を係長以上が修正できる
権限なんか即刻やめるべきだ!**

不正にフトコロに入れたカネは、2人とも現在返

還中だ。人事課は調査した結果「係長以上の職にある者に付与されたタイムレコーダーの打刻修正権限を悪用した」としている。そもそも遅刻や早退した記録を係長以上の職にある者が、修正できる権限なんてのがあるのがおかしいよ。「悪用して給与とごまかしているよ」って教えているのと同じだ。そんな権限は即刻やめなきゃダメだ!

目黒区の英文広報紙、突然廃刊! 14言語を自動翻訳の目黒区HP間違いないか?

今年2月中旬、目黒区職員から、情報提供があった。要約すれば、「広報紙からきた文書の中に、驚くことが一行ありました。『英文広報は、平成28年4月号の発行を最後に廃止します』と。私の周りの管理職も驚いているので、どう決定したか。外国人住民が増えていて、多文化フォーラムを開催したり、東京都検討会が持たれたり、これから最も必要多言語化の広報政策に全く反対の愚策です」というもの。

外国人でも目黒区に住んでいれば住民税と所得税は払うことになる。英文広報紙を廃刊にするとはひどい。その直後に企画総務委員会があって、つぎの報告があった。

幅広い情報の提供

現在、隔月で発行している英文広報紙や3ヶ年毎に発行している外国語便利帳(リビングガイド)は、発行頻度や掲載量に限界があるため、最新の情報や個別事業の詳細な内容を盛り込むことが困難となっている。外国人住民の在留目的は多様であり、興味や関心の高い分野も異なる。基本的な生活情報に加えて多様な情報を提供することにより、多くの外国人住民がさらに区政や地域への理解を深め交流を促進することが求められている。

しかし、多くの言語で広報紙を作成し、多様な情報を掲載するためには、編集・配布作業や経費面の負担が増大するという課題がある。このため、今後は情報・通信機器の活用により、さらなる多言語広報を進めることとし、以下の取り組みを行う。なお、印刷物については、リビングガイドは既に英語、中国語(簡体字)・ハングルで発行しているため継続することとし、英文広報紙は発行を終了することとする。

青木区長の給料減額の 条例改正は嘘っぱちだ!

目黒区民をベテンにかける青木英二区長は言語道断だ。平成27年11月の定例議会に「目黒区長等の給料等に関する条例等の一部を改正する条例」という長ったらしい議案が提案された。

区長の給料の額の減額は月額が現行1,072,000円を改正後1,058,000円で、14,000円の減額になると議案に記載されている。

しかし同議案に「期末手当での増額」があり、その結果、区長の年収は改正後、2,145万2,650円になり、現行より年収で24万円もアップになる、と議案審議のとき、総務課長が説明。むしろ、私はこんな嘘っぱち議案には反対した。しかし、自民・公明・民主らの区長ヨイショが賛成してベテン議案が議決された。困ったもんだよ!

固有名詞を知らず 「個名」と造語する 区長・青木の無学!

区長・青木はよく「こめい」という言葉を使う。日本語に「こめい」なんていう言葉はない。

昨年9月9日、企画総務委員会で、区長の退職金(一期4年で約2100万)に関して議論しているとき、区長青木が「こめい」といったので、私は「『こめい』ってどういう字を書くんですか。『こめい』なんていう言葉は日本語にないから」と聞いた。

すると、区長青木は「いつも使っている『こめい』というのは、個人タクシーの『個』という字と名前の『名』です。特定の人を指す名前を私は『個名』といっています」。つまり勝手に日本語の造語を造っているのだ。トンデモないことだ。区長青木は退職金を受けとっている、世田谷区の保坂区長は退職金を辞退しており、その差を議論していた。

区長青木は「保坂さんの『個名』といえばハッキリわかると思って……。もし、そういう言い方がないのなら、議事録から訂正してください」。

私は、「固有名詞」というんだよと教えてやった。

★目黒区、出勤時間偽った課長らを停職処分
目黒区は26日、出勤時間を偽り、給与を不正に受け取ったとして、男性課長(48)を停職2ヶ月、男性係長(47)を停職一ヶ月の懲戒処分にした。処分は25日付。区によると、男性課長は2012年～15年、計65回にわたって出勤時間を偽り、約91時間の給与と勤勉手当など約145万円を不正に受け取った。男性係長は11年～15年に計120回偽り、約百万円を受け取った。二人はタイムカードを通さなかったり、後から出勤時間を改ざんしたりしていた。
課長がタイムカードを通さないことなどを不審に思った職員が人事課に相談して発覚。全職員を調べたところ、係長の不正もわかった。二人は「遅刻を隠したかった」と話しているという。

「東京新聞」3月27日記事

(1)公式ホームページの多言語化

日本語以外に英語・中国語(簡体・繁体字)・ハングルで自動翻訳する機能に平成28年度から14言語*を追加して運用する。

(*14言語:フランス語、イタリア語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、インドネシア語、ベトナム語、ロシア語、タガログ語、オランダ語、スウェーデン語、ヒンディ語、マレー語)

(2)めぐろ区報電子化の多言語化

めぐろ区報をスマートフォンやタブレットで閲覧できる機能を導入し、日本語の掲載記事を英語・中国語(簡体・繁体字)・ハングルで自動翻訳する機能を加える。

4 今後の予定
平成28年4月 公式ホームページの多言語化開始
4月 英文広報紙の発行終了
6月 めぐろ区報電子版の多言語化開始

委員会が説明した広報課長に、目黒区の公式HPの日本語を自動翻訳機能で、14言語に翻訳して大丈夫なのか、テストしてみたのか?と質疑したら、なんとまだやってないというのだ。

現在、自動翻訳機能や音声文字化のソフト、アプリが蔓延している。ほかにも英語でウィキペディアを検索すると「日本語に翻訳しますか?」とでる。翻訳してみると、何が何だかわからないものばかり。

英文広報紙廃刊は、早すぎる。2020年東京オリンピックだ、オモテナシだと空騒ぎしているが、英文広報紙を廃刊にするなんて何を考えているのか!

困ったもんだ!27年度定期監査 区職員のダメな仕事ぶり発覚!

地方自治法第199条で、目黒区など地方公共団体(地方自治体)は1年に1回以上の定期監査で、財務に関する事務(注:事務とは自治体が行う仕事全部を含む)を監査すること、定められている。監査、つまりチェックするのは、「予算の執行、収入、支出、契約、現金および有価証券の出納保管、財産管理等の事務」が適正かつ効果的に行われているかである。

しかし、27年度の定期監査で区職員のダメな仕事ぶりが指摘され大騒ぎ!

監査の結果 指摘事項 監査の結果、次のような是正及び改善を要する事項が見受けられたので指摘する。

(1)給与事務における事務処理を誤っていたもの
ア 臨時職員の賃金支出について、勤務日数の実績を誤って記載したため、賃金支給額に過不足が生じていたものがあつた。

(税務課、教育指導課、生涯学習課)

イ 専務的非常勤職員の即日帰庁旅費の計算について、運賃や定期券調整、回数券調整等に誤りがあり、旅費の支給額に過不足が生じていたものがあつた。

ウ 不納欠損に係る起案について、意思決定権者は部長であるが、課長が決定していたものがあつた。(防災課、文化・交流課、高齢福祉課、生活福祉課、子ども家庭課、都市整備課、みどり公園課、めぐろ学校サポートセンター)

(2)会計事務における事務処理を誤っていたもの

ア 現金出納簿の記帳について、所管課と収納事務受託者は、それぞれ別々の簿冊に記帳する必要があるが、一冊の簿冊を共有していた。(人権政策課)

イ インターネット端末からの印刷に係る利用者負担金の蔵入調定について、収納があつた日ごとに調定を行うべきところ、月単位で調定を行っていた。(八雲中央図書館)

(3)契約事務における事務処理を誤っていたものなど

ア 契約の履行上、再委託を行う際に必要な再委託承諾の手続を行っていないもの、再委託承諾の起案処理で契約課への必要協議を行っていないものがあつた。(スポーツ振興課、戸籍住民課、西部地区サービス事務所、障害福祉課、子育て支援課、環境保全課、学校運営課、めぐろ学校サポートセンター、八雲中央図書館)

イ インフルエンザ予防接種記録票の印刷契約を締結したが、印刷数を誤ったため、追加印刷が必要となり、追加の印刷契約を締結した。この結果、追加契約においては1部当た

りの単価が、当初契約における単価の約7倍になっていた。(碑文谷保健センター)

ウ 物品の購入に当たり、原則として2者以上から見積書を徴取することとされている。しかしながら、見積書の徴取を1者とすることができる1件当たり5万円未満の契約とし、同日や連日又は短期間に、同一業者や同種の別業者と契約を繰り返して行っていたものがあつた。(総務課、子ども家庭課、教育指導課、八雲中央図書館)

エ 契約依頼で、仕様書を作成していないものが多数あつた。(広報課、総務課、人事課、戸籍住民課、健康推進課、地域ケア推進課、介護保険課、高齢福祉課、生活福祉課、道路管理課、土木工事課、清掃リサイクル課、清掃事務所、学校運営課、めぐろ学校サポートセンター、八雲中央図書館)

カ 10万円未満の委託等契約、30万円未満の工事契約の場合に、見積徴取を1者とする理由について、契約確認票において「緊急対応が必要であるため」を選択しているものの中で、この項目が示す緊急対応には該当しないものが多数あつた。また、見積徴取を1者とする理由が別にあるものがあり、その場合は別項目を選択して理由を記載する必要があつたが、記載されていなかった。

(総務課、人事課、地域振興課、税務課、スポーツ振興課、戸籍住民課、東部地区サービス事務所、保健予防課、高齢福祉課、保育課、みどりと公園課、会計課、区議会事務局、教育指導課、めぐろ学校サポートセンター、八雲中央図書館、選挙管理委員会事務局)

キ 暴力団等排除に関する特約条項、談合その他不正行為に係る契約解除と損害賠償に関する特約条項を付していないものが多数あつた。

(総務課、人事課、健康推進課、介護保険課、障害福祉課、みどりと公園課、教育指導課、八雲中央図書館、選挙管理委員会事務局)

★指摘事項を一読すればわかる通り、見積合せのない10万円未満の委託契約、30万円未満の工事契約にしたと思われるものや暴力団排除の特約事項欠落、仕様書を作成しない契約や発注部数を間違え追加注文7倍の価格など、職員の損害賠償対象になりかねないミスが目立つ。同じ間違いが16課に及ぶなどダメな仕事ぶりだ。行政の長・区長青木のリーダーシップ欠如の責任問題だ。

2015年ノーベル文学賞の女性ジャーナリスト・アレクシエーヴィチ 「ボタンの穴から見た戦争」子供たちの戦争証言を紹介しよう!

昨年(2015年)、旧ソ連・ベラルーシの女性ジャーナリスト、ノンフィクション作家のスペトラーナ・アレクシエーヴィチ(67)さんがノーベル文学賞を受賞した。彼女の代表作の「戦争は女の顔をしていない」、「チェリノブイリの祈り」、「ボタンの穴から見た戦争」(三浦みどり訳)が「岩波現代新書」に入りました。その中で「ボタンの穴から見た戦争 白ロシアの子供たちの証言」は、1941年に、ナチス・ドイツの侵攻を受けたベラルーシは、600もの村々が焼かれ村人が焼き殺され、銃殺された。

40年後、アレクシエーヴィチさんは、当時2歳から15歳までの幼児と少年少女の戦争体験の証言を集めた。101人を集めたのが「ボタンの穴から見た戦争」だ。2歳の幼児でも鮮明な記憶が生きている、に驚く。

ちなみに、私は1941年12月8日、真珠湾奇襲で日米戦争が始まったとき、2歳11か月だった。が、開始当日のこと、その後4・5歳の頃の空襲の体験・記憶は不思議なくらい覚えている。「ボタンの穴から…」の短い一篇だけを紹介しよう。

「自分の名前に慣れることができます…」

レーナ・クラフチェンコ、六歳 (会計係、ミンスク在住)

空からの機銃掃射をうけると、全部の弾(たま)が背中にあたるとな気がしました。「おかあちゃん、あたしを隠して!」と私はたのみました。おかあちゃんは上から身をふせてくれて、私は何も聞えず、見えなくなりました。

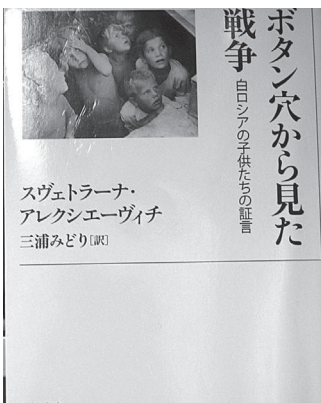
お母さんがいなくなったり、殺されたりしたらどうしようと怖くてたまりませんでした。殺された母親のそばにいる子供たちをたくさん眼にしていました。母親の死体がころがっていて、赤ん坊がその乳を吸っていました。たった今殺されたばかりのようでした。赤ん坊は泣きもしないで、乳を吸って、ピチャピチャと口を鳴らしていました。私はそのそばに伏せていたのです。

車に乗せられて、子どもたちは皆、バケツをかぶらされました。私はいやで、お母さんの言うことを聞きませんでした。

それから、私たちが隊列をなして追いたてられたこと、

お母さんをとりあげられたことを憶えています。私はお母さんの手をつかんで、薄物のワンピースにしがみつきました。その服装は戦時向きではありませんでした。よく泣きました。ファシストはまず機関銃で私をつきとばし、私がころんだ時は、ブーツで蹴飛ばしました。どこかの女の人が私を抱き上げました。それから、なぜかその女の人と汽車に乗っています。どこに向かっているのか?大人たちの会話から、ドイツに連れていかれるのだと分かったのです。皆にきいてまわります。「あたしみたいな小さい子に何の用があるの?ドイツに行って何ができるっていうの?」暗くなってきた時、女の人たちが私を扉のところによびつけて、文字通り汽車からつきとばしました。「お逃げ!助かるかもしれないさ」

溝のようなところに転がり落ちて、そこで寝入ってしまいました。寒かったけど、夢の中でお母さんが何か暖かなもので包んで、やさしい言葉をかけてくれました。この夢はずっと見ています。……戦後25年しておばさんひとりを捜し出しただけです。おばさんが私の本当の名前を覚えてくれたけど、なかなか自分の名前に慣れることができず、呼ばれても返事ができませんでした。



2歳から15歳までの戦争体験をまとめた

スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ
三浦みどり(訳)

目黒区議会議員(無所属)ジャーナリスト

須藤 甚一郎

(すどうじんいちろう)

1967年以来、ジャーナリスト(雑誌記者、専門学校ジャーナリスト講師、夕刊紙編集員、テレビリポーター、コメンテーター)として49年間活動。現在も週刊誌にコラム連載。政治、司法、医学、災害、事件から芸能ニュースまで取材範囲は幅広い。著書に「まっ黒長屋の物語」(三一書房)ほか多数。
平成11年4月 目黒区議選に初当選
平成15年4月 2期目区議選に3040票(1位)
平成19年4月 3期目区議選に4898票(1位)
平成23年4月 4期目区議選に3986票(1位)
平成27年4月 5期目区議選に4303票(1位)

無所属議員として、目黒区行政の不正、疑惑、税金のムダ遣いなどを徹底的に追及しつづけている。住民監査請求、住民訴訟、行政訴訟などの法的手段を使って、目黒区の行政チェックをやっ

「保育園落ちた日本死ね!」とブログに!国会で総理安倍アタフタ騒ぎ! 「なんなんだよ日本。一億総活躍社会じゃねーのかよ」まさにその通り!

保育園の申し込みに落ちた母親が、「保育園に落ちた日本死ね!」の見出しを付けてネットで公開。日本中から「やったね!」の支援者も多い。そのママの一人がワイドショーの取材に顔を隠さず笑顔で応じていた。同じ思いを持っているママたちは「よくやってくれたと思っているのだ。」「保育園落ちた日本死ね!」には、こう書かれていた。

「なんなんだよ日本。一億総活躍社会じゃねーのかよ。昨日見事に保育園落ちたわ。どうすんだよ、私活躍出来ねーじゃねーか」「子供を産んで子育てして社会に出て働いて税金納めてやるって言うてるのに日本は何が不満なんだ?何が少子化だよクソ。子供産んだらいいけど希望通りに保育園に預けるのは無理だからって言うて子供産むやつなんかいいよ」

「不倫してもいいし賄賂受け取るのもどうでもいいから保育園増せよ。オリンピックで何百億円無駄に使ってんだよ。エンブレムとかどうでもいいから保育園作れよ。有名なデザイナーに払う金あるなら保育園作れよ。どうすんだよ会社やめなくちゃねーだろ。ふざけんな日本」

「保育園増やせないなら児童手当20万にしろよ。保育園も増やせないし児童手当も数千円しか払えないけど少子化なんとかしたいんだよねーってそんなムシのいい話あるかよ。金があれば子供産むってやつがゴマンといるんだから…国会議員を半分かくらいクビにすりゃ財源作れるだろ。まじいい!加減にしろ日本!」(2016.2.15)

憲法改悪、戦争法案に反対する俳人の金子兜太が太い筆で書いた「アベ政治を許さない」もい。戦争のできる法案を強行採決したときは、国会前に集化した10万人が、コンビニでコピーした「アベ政治を許さない」を

持って反対を叫んだ。「保育園に落ちた日本死ね!」もパンチの効いたスローガンだよ。昨日(3月3日)、ひな祭りに当日に、国会衆院予算委員会で、保育所の足りないことを問題にするとはいいね。

安倍総理に質問したのは、民主党の女性衆院議員(愛知7区)の山尾志桜里さん(41)。安倍は「匿名の投書ではホントかどうかわからないでしょう」などとオタオタするだけ。美人の山尾議員は、「保育園に落ちた日本死ね!」をパネルにして、安倍総理に見せながら、保育園に落ちた母親の「なんなんだよ日本。一億総活躍社会じゃねーのかよ」を代弁するような質疑をした。翌日のテレ朝の「モーニングショー」では、山尾さんの質疑の様子を放送した。彼女は、東大卒の検事だったのだ。維新と合併するが民主党にこんな女性議員がいるなんてビックリ!いずれ新党の幹部になるはずだよ。

★7月の参院選に「日本死ね!」ママを 民主・維新新党の比例区候補にすばい!!

「保育園に落ちた死ね!」を書いたママに同調したあるママは、散らかった部屋でテレビのインタビューの応じていた。「娘

を保育園に入れて、働こうとしたのにダメ。何が一億総活躍なんですか」と落ち着いた口調でしゃべっていた。「日本死ね!」と書いたママと同じ境遇なのだ。保育園に落ちた2歳の女の子は、短いクレヨンでお絵かきの最中。ときどきママの背中に抱き着いていた。そう、7月の参院選の比例区の候補には、ぜひ「日本死ね!」と安倍批判したママを探し出し、7月の参院選の民主・維新新党の比例区候補にすれば、大躍

進じゃないのか。当選したら、山尾議員とコンビを組んで保育問題以外にも総活躍すれば、安倍政権なんかじきにぶっ飛ぶぞ!



安倍総理に質問する山尾議員

須藤甚一郎 目黒区議選の結果は4303票で4期連続トップ当選!

昨年4月の目黒区議会選挙で当選した直後、ホームページで報告した内容を再録します。昨年の区議選から公職選挙法の改正で、選挙が開始されても、ホームページ更新や選挙戦を動画に収録して見せることが可能になった。

「はくは連日、演説の様子を動画に収めてHPで見せた。候補者全員がやっていると思ったが、やっている候補のほうが少なかったね。当選すると翌朝、駅頭で「ありがとうございます。皆さまのお陰で当選できました!」なんてベコベコ頭を下げているものいるが、あれは公選法違反なんだよ。HPやるのも違反だよ。でも、逮捕された例は聞いたことがないが。」

「はくは、HPでお礼じゃなく、リポートしたので、それを再録します。」

目黒区議選の結果は、まさかの4期連続のトップ当選でした。投票してくださった目黒区の有権者のみなさんに、御礼申し上げる言葉を書きたいのですが、公職選挙法で当選者が、選挙後に「お礼」の演説をしたり、お礼状を送るのは禁止されているのです。有権者のみなさんに迷惑をおかけしてはいけないので、簡単に事実を申し上げます。すでにHPの選挙スペシャルに書いたように、今回の得票数は4303票で、2位の候補が2792票で、その差は1511票だった。当選者で最低得票は1408票。ちなみに平成15年2期目は3040票、19年3期目は4898票、23年4期目は3986票で、それぞれトップ当選だった。今回の選挙は、これまで4回の選挙と一番違っていたのは、はくが駅前や路地裏で演説しているとき、はくと年齢の



近い高齢者、後期高齢者のみなさんの反応だった。JR目黒駅前前で中断せず、一気に35分もの青木区政の批判演説をした。が、道路の向かい側のバス停で高齢者が何人も立ったまま演説の聞いてくれた。演説が終わると、わざわざ足を引きずって道路を渡り「ガンバレ!」と握手を求めてきた。手は節くれだし肉厚。はくが「鍛冶屋、それとも大工さん?」っていうとどう、若いよれさ(笑)。仕事はできねえよ!」

★30分の長演説を聞いてくれた人! 「期日前投票であんたに入れたよ」の人も!

住宅街で演説するとき、ほんの5分ぐらいするつもりが、20分、30分になってしまった。年をとったので、話がしつこくな

ったこともあるが、区長・青木の区政のやり方が区民無視、インチキ、ベテランに満ちていて、「このヤロー!」って気持ちで強く、演説が長くなるのだ。2階の窓を開けて、無精げのへえた顔で街角演説を笑顔で聞いてくれた、はくと同じ後期高齢者だろう、おじさんめいたよ。演説が終わると、しきりに拍手をしてくれた。はくは涙があふれそうになったけれど、恥ずかしいので手拭いで汗ふくふりをした。

そう、学芸大前商店街で笑顔で「もう期日前投票で、あんたに入れてきたよ!」っておばちゃんもいた。嬉しかったね。

選挙のときのみなさんの熱い応援を思い出すと、今年1月27日に喜寿、つまり77歳になってしまったが、若い連中に負けちゃいけないっての。まだまだじゃんじゃんやりますよよろしく!

私は1人会派「闘う!無所属」を旗揚げした!区長・青木英二や 他の区議とガチンコで闘うには、1人会派が一番いい!

はくは、無所属仲間と会派(注:区議会議員が目黒区の場合は3人以上以上とすると会派が結成できる。議会運営委員会が議決権を持てる。けれど、まあどうってことはないよ)をこれまで組んできた。この4年間の今期を無所属の人たちとそうするつもりだった。

けれど、トンデモナイことが起きて、1人会派になった。名称は「闘う!無所属」と名乗っているよ。トンデモナイことは、選挙が終わった後、議長、副議長、各委員会の構成員を決める必要がある。そりゃそうだね。そうしなければ区議会が機能しないからだ。

前期まで会派「独歩の会」仲間だった坂本史子議員とまた会派を組もうことになるだろうな、と思っていた。だから、委員会の構成員や役職の割り振りは、坂本さんに任していた。ところが、おかしな動きになった。とうのは、民主党は3人で1人は新人。

でも、委員会の役職割り振りに何の不都合もないのだが、自民の連中が「委員長になったら、質疑はできないの

で、1人の委員会で委員長になる場合は、委員会にもう1人入れろ!」とおかしなことを言い出したのだ。会議規則に委員長が発言できないなんて規則はない。はくも委員長の経験はあるが、副委員長に代行してもらって質疑をすればいい。おかしなことを言い出したのは、自民の田島けんじ議員だ。それに同調する自民議員もいたよ。

民主おかしな動きして、自民に言われたからではなく、委員長になる場合は自発的に委員を2人にするといい。が、自民の圧力に屈したのは明らかだった。3人の会派なら、4つある常任委員会に1人づつ委員になるのが規則なのだ。それを破ったんだ。

自民は他の会派に手を突っ込んだ。自民もヤバイと気がついたのだろう。「田島発言を撤回する!」と言い出したが、発言は撤回しても、民主の2人が同じ委員会はそのまま。そんなバカな話があるもんか。はくは筋を通して、そんなヤツらに抗議して1人会派になったのさ。



目黒区議会議員(無所属)ジャーナリスト 須藤 甚一郎

(すどうじんいちろう)

1967年以来、ジャーナリスト(雑誌記者、専門学校ジャーナリスト講師、夕刊紙編集員、テレビリポーター、コメンテーター)として49年間活動。現在も週刊誌にコラム連載。政治、司法、医学、災害、事件から芸能ニュースまで取材範囲は幅広い。著書に「まっ黒長屋の物語」(三一書房)ほか多数。
平成11年4月 目黒区議選に初当選
平成15年4月 2期目区議選に3040票(1位)
平成19年4月 3期目区議選に4898票(1位)
平成23年4月 4期目区議選に3986票(1位)
平成27年4月 5期目区議選に4303票(1位)

無所属議員として、目黒区行政の不正、疑惑、税金のムダ遣いなどを徹底的に追及しつづけている。住民監査請求、住民訴訟、行政訴訟などの法的手段を使って、目黒区の行政チェックをやっ

いる。
こうした住民訴訟を提起してきた!

これまで、目黒区旧区役所・公会堂を随意契約で最高購入価格より39億円も安く売却したため、当時の区長の損害賠償を求め住民訴訟を提起した。他にも青木区長が、公務で新年会132回出席、115万円余を支出した事案。めぐろキャンパス内のレストラン「シェ松尾」の改修工事で、青木区長が公費470万円余を支出した事案。青木区長は「目黒区を楽しむ本」の制作、発行に1500万円支出したが、売上金2200万円余の金額が出版社の収入になった事案。子ども手当の目黒区負担分5億1800万円余の公金支出を差し止める住民訴訟を提起。

旧区役所売却に係る住民訴訟で、私は政務調査のための訴訟なので政務調査費の一部(135,725円)を訴訟関係の費用に充てた。ところが、青木区長は平成19年、政務調査費の使途基準に反するとする違法な監査委員の勧告を受け、私に返還命令処分をした。そこで、平成20年2月に、私は青木区長を被告にして、

処分取消訴訟を提起。同年11月に、東京地裁で勝訴。

平成21年9月には、東京高裁でも勝訴した。平成25年1月25日、最高裁での判決があり、処分した135,725円のうち107,375円は違法であり、処分取消で勝訴。

平成26年 区有施設見直し方針に関し住民訴訟。安倍総理「集团的自衛権行使の閣議決定は違憲」の行政訴訟提起。

早稲田大学第2政治経済学部政治学科卒業
昭和14年(1939年)東京生まれ

発行日:平成28年3月10日
〒152-0034
東京都目黒区緑が丘1-11-3
電話:03-3723-8167
FAX:03-3717-6223
発行人:須藤 甚一郎

この政務活動レポートは、政務活動費で印刷し配布するものです。